

「1年を振り返って」

校長 池原 智宏

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

御心配をおかけしました卒業式につきましては、3月1日、コロナ対応のため、卒業生と保護者のみの参加で実施となり、32名全員卒業を果たし、それぞれの進路に向かい本校を巣立って参りました。ここに御報告いたします。

日本での「年度」の考え方は、4月に始まって3月に終わり、四季（春夏秋冬）により季節の違いを感じ取れる特徴があると思います。春に芽吹き、夏に生い茂り、秋に実り、冬に枯れる、そしてまた、春に芽吹く。そんな一年草のようにハッキリとした季節が巡る日本の「年度」は素敵だと思います。ここ音威子府村は、特に日本の四季を強く感じられる自然豊かな場所ですが、生活をするには便利ではないと生徒の皆さんは感じているのではないのでしょうか。しかし、生徒の皆さんは、本当によく「住みこなしている」と感心させられています。卒業まで、うまく住みこなしてください。

さて、令和2年から2年にも及ぶ「コロナ禍」は、いまだ私たちの生活に大きな影響を与え続けています。今年度は、「緊急事態宣言・まん延防止等重点措置」の発令があり、部活動大会や定例の学校行事の変更・縮小・中止など、学校運営が大きく影響を受けた年となりました。生徒の皆さんには、課外活動の縮小や新しい生活習慣への協力など、不自由で不完全燃焼な年となったことと思います。生徒の皆さんは、窮屈な生活の中でも感染予防に良く取り組み、工夫によりいくつもの行事を達成してくれました。特に学校祭は例年通りとはいきませんでした。創意と工夫により「おと高」らしい学校祭が開催できたことに心より感謝いたします。

生徒の皆さんはこの一年「コロナ禍」により辛く大変な経験をしたと思います。そうした経験をした新2年生・新3年生に次の言葉を伝えたいと思います。芸術家 岡本太郎さんは、「人間にとって成功とはいったいなんだろう。結局のところ、自分の夢に向かって自分がどれだけ挑んだか、努力したかどうか、ではないだろうか」と言っています。目標・夢・志を是非見つけてください。そうすれば、それに向かって努力することができます。技術、知識・知恵など身につけたいものはそれぞれ違うと思います

が、夢を見つけたときから、生徒皆さんの人生は始まるのです。

この春休みは、生徒それぞれの将来の目標・夢・志に向けて、貴重な時間として頂きますよう御家庭で御指導をお願いいたします。

令和3年度一年間の本校に対する保護者の皆様の御支援・御協力に心から感謝を申し上げますとともに「コロナ禍」が収束し、全ての皆様に元通りの生活が戻ることを祈念いたします。

職員異動

【転出】

佐々木 雅治 教頭
「北海道留萌高等学校（教頭）」

林 一浩 教諭(理科)
「北海道深川東高等学校(教諭)」

大町 将太 教諭(美術)
「北海道釧路工業高等学校(教諭)」

離任者より

教頭 佐々木 雅治

この度、3月末をもちまして留萌管内の北海道留萌高等学校に異動となります。

3年前の本校着任時は、私の専門が「商業」であるため、学校のことは何もわからず、また、美術・工芸の知識もない中、職務を全うできるか不安しかたないスタートでした。3年間勤務をしていく中で、北海道唯一の工芸科の高校で、親元を離れて寮生活を送る子どもたちの姿や、美術工芸への熱い気持ちを持って授業に取り組む姿勢、将来の夢の実現のために進路決定に進んで行く姿を見て驚き、感動の毎日でした。

また、木の手づくり展の開催や、地域みらい留学などでの学校紹介など、他の学校では経験できない様々な行事に参加できました。そして、学校祭や手づくり展などでの保護者の皆さまの教育活動への援助に助けられた日々でした。本校での経験を活かして、今後もより良い教育の実現に全力を注いでいこうと思っています。

最後になりますが、在任中、村民・同窓生・PTAの皆様には一方ならぬご支援を賜りましたこと心よりお礼申し上げます。本当に有り難うございました。

理科 林 一浩

平成27年からの7年間、おと高でも多くの生徒と出会い、様々な新しいことを経験させていただきました。部活動では生徒たちと一緒に検定を受け、授業では理科だけでなく、家庭科も持ち、新たなスキルを身に付けることにもつながりました。また、胆振東部沖地震による停電や、昨今の新型コロナウイルス感染症による行事の縮小、削減など、多くの苦難の中でも精一杯頑張ろうとする生徒たちの姿に日々、力をもらってきたように思います。この音威子府での生活は生徒のみなさんにとっても私以上にかげがえのないものになると思っています。楽しいことも、苦勞することも全てがみなさんの財産です。一つ一つの事に全力で向き合い、努力を続けていってください。みなさんの活躍を離れても応援しています。

最後になりますが、生徒の皆さま、保護者の皆さま、地域の皆さま、7年間大変お世話になりました。様々な点で至らないこともありました。この音威子府の生活を楽しめたのも皆さまのおかげとっております。本当に7年間ありがとうございました。

工芸科 大町 将太

1年前、おと高に来て緊張しながら皆さんに挨拶した事を今でも良く覚えています。

私は工芸の経験はほぼ無く、生徒の皆さんとほとんど同じスタートラインの目線から皆さんを見てきました。制作ではこだわりを持って作品と真剣に向き合い、楽しそうに知識や技能を身に付けていく皆さんの姿はとても生き生きしていました。また、工芸に限らず様々な場面で、皆さんが互いに助け合ったり協力をし合いながら物事に取り組む様子にいつも感動していました。親元を離れ、この学校で皆さんが立派になっていく様子を近くで見ているのがとても楽しかったです。皆さんと過ごしたこの一年は私にとっても沢山の学びと思い出ができた貴重な一年間になりました。今まで本当にありがとうございます。これからもその誠実な心を忘れず、なりたい自分になれるよう努力を続けてください。これからもずっと皆さんの活躍を影ながら応援します。

生徒、保護者、地域の皆様今まで大変お世話になりました。

できごと

《卒業式》

令和3年度第36回卒業証書授与式を3月1日に行いました。今年度も卒業生と保護者・教職員のみでの授与式となりました。厳粛な雰囲気

で行われ、感動的な式となりました。沢山の行事が中止・変更になった1年間でしたが、生徒の皆さんが笑顔で旅立ってくれたことに感謝します。4月からそれぞれの進路先で元気に活躍してくれることを期待しています。



行事

- 4月 7日 帰寮日
- 8日 着任式・始業式、入寮式
- 9日 入学式（1年）、土曜授業（2・3年）
- 11日 振替休日
- 21日 見学旅行結団式
- 22日～26日 見学旅行（3年）
- 27日～28日 3年生振替休日
- 28日 全校集会
- 29日 帰省日（1・2年）
- 5月 8日 帰寮日
- 9日 授業開始
- 25日～27日 宿泊研修（1年）

**子ども相談支援センター
相談窓口のお知らせ**

いじめや不登校、体罰などの学級関係に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談 ☎ **0120-3882-56**
（無料、毎日24時間対応）

●メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談
（10～18時、土日・祝日、年末年始はお休みです。）
子ども相談支援センター
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話番号で予約してください。

センターのWebページに「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。
URL <http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>